



## 国際交流フェスティバル 2018 を終えて

### 一緒に世界を楽しみました！

去る、2018年9月9日（日）に、滝沢市国際交流協会主催の国際交流フェスティバルを開催しました。今年のテーマは、身近な外国人と知り合いになろうということで取り組みました。

このフェスティバルは気軽に外国人の方と触れ合える貴重なチャンスであり、アジア（中国、韓国、フィリピン、インドネシア、インド、マレーシア、ベトナム、ウイグル自治区）、アメリカ（アメリカ、メキシコ、ホンジュラス、コロンビア、エクアドル、ペルー、パラグアイ）、アフリカ（タンザニア、エジプト）の地域の方々に参加を頂き、それぞれの文化、生活習慣、歴史等を展示やお話で紹介して頂きました。また、子供向け英会話教室や、比較的日本とつながりの深いパラグアイのお話を聞くことが出来ました。ステージではフィリピン、インドネシア、コロンビア、ウイグルの踊りや、歌を披露して頂き、また、フェスティバル参加者が外国の踊りを楽しむ機会も設けました。



ステージで外国の踊りを楽しみました。

ブースでは各国の紹介のほか、JICAによるエジプトの言葉でのプラ板作り、県立大学生の韓国留学の紹介、また、警察の方々にも参加して頂き、警察は取締だけでなく、外国人と地域の方々との触れ合いにより、安心な社会の実現に努力していることも紹介して頂きました。さらに、外国料理の教室や多くの外国の衣装の展示や試着も楽しんで頂きました。



メキシコ料理教室 たいへん美味しくできました。

このように、今回は海外の文化紹介だけでなく外国の方々にとっても住みよい滝沢市であるということにも触れることが出来たのではないかと思います。また、今後は益々市民と外国籍の方をつなぎ合わせるための手助けとなれる場にしていきたいと思えます。最後に、昨年と同様、多数の方に参加して頂きましたことを、心より御礼申し上げます。

国際交流フェスティバル in TAKIZAWA

実行委員長 笹渡 匡

# 生涯スポーツの国 —ニュージーランド—

## ニュージーランド高校生と盛岡農業高校生の交流



ニュージーランドでは、学校教育と同様、スポーツについても国がしっかりとした振興制度を作っています。そして、スポーツの振興を実際に担っているのは地域スポーツクラブです。もちろん、学校内に「部活」もあって、高校では「部活」が中心になることもあります。これ以外は地域スポーツクラブが活動の中心になっています。スポーツを中心とした地域社会（スポーツコミュニティ）作りもニュージーランド地域社会の特徴ですが、これは学校を中心とした地域社会（スクールコミュニティ）とオーバーラップして作られています。学校を中心としたスポーツ活動が主体の日本とは大きく異なり、スポーツ振興についても、ニュージーランドでは、地域住民の役割と言う認識が極めて大きいものとなっています。

スポーツコミュニティでは、学校が部分的に係る場合や外部コーチをお願いする場合がありますが、地域に暮らす住民・保護者のボランティア活動が運営の主体となっています。さらに特徴的なのは、この活動は多くの地域企業のスポンサーシップにより支えられていることです。地域スポーツを支えることが地域企業の使命にもなっています。



緑生園とのラグビー交流試合（岩銀スタジアム）

因みに、総人口 470 万人のうち、100 万人以上のスポーツボランティアがいると推計されている「ボランティア大国」です。大人もスポーツが大好きで、国民スポーツ参加率が 6 割と言われるく

らい生涯スポーツが盛んな国です。アスリートでなくてもどのように生涯スポーツと関わっていくか、地域スポーツクラブをどのように運営していくか、また、スポーツ指導者へのキャリア形成など、ニュージーランドから学ぶ点は多くあります。

このようにスポーツが盛んな国、ニュージーランドのクライストチャーチ市のクライストカレッジ高校生ラグビー部員を関係機関のご支援により、岩手県立盛岡農業高校にお迎えし、日本の農業や文化の体験を通じて親睦・友好を深める機会を持つことが出来ました。



そば打ち体験、慣れない！けど楽しかった！



餅、そば、盛農自家製のパン、ジャムの試食！

両校の生徒にとって貴重な経験になったものと思います。

文責 田村

# 日の沈む国 —モロッコ—

JICA 青年海外協力隊 前川七恵



JICA 青年海外協力隊員として、アフリカのモロッコ王国北部の地方都市テトゥアンで料理講師をしています。派遣先は、15～30 歳くらいの経済的に困難、又は学校を中退した人が多く来る無料の職業訓練校で、調理、エステティック、裁縫、自動車整備、PC、識字クラスがあります。

モロッコはほぼ全国民がイスラム教徒です。豚肉、アルコールはタブーとされているので、大きな町では買えますが、私の住んでいる地域では販売されていません。また、町中にモスクがあり、一日 5 回、アザーン（お祈り呼びかけの声）が大音量で流れます。これは低い声のアラビア語で流れるため、モロッコに来たばかりの時は、1 回目のアザーン（朝 5 時位）に驚いて目が覚めてしまいました。



モロッコでは、ジュラバという伝統衣装が日常的に着られています。女性はヒジャブと言う布も巻いて髪を隠し、更にニカブという布で目以外の顔を覆っている人もいます。クラスの半分以上の女生徒もヒジャブを巻いており、何人かの生徒は肌が露出するので腕まくりも拒否します。



調理・製菓コースの生徒たち（顔出しは NG）

私が担当する調理・製菓コースは今期 75 名ほどの生徒がいます。殆どの生徒がダリジャ（モロッコのアラビア語）しか話せないなので、授業も会話も苦労します。モロッコの公用言語はアラビア語

とベルベル語で、第二言語がフランス語です。

そんな中、授業の教材やレシピをフランス語で作っています。テトゥアンはスペインに近いのでアラビア語の他に、スペイン語も話されています。若い子は英語を勉強しているようです。一つの国で、沢山の言語が話されており、色々な言語に触れる機会があるのでうらやましいと思いますが、大変さも感じます。私はダリジャがあまり話せないなので、授業をフランス語で行っています。なので、フランス語か英語が通じる生徒に通訳してもらったり、分かる単語はダリジャやスペイン語を混ぜながら進めています。

学校の予算も少なく、限られた食材しかないので、あまり多くの物を教えられないのが残念ですが、生徒は自分の作ったものをととても喜んでくれているので嬉しいです。一人でも多くの生徒が料理や製菓に興味を持ち、卒業資格を得て仕事を見つけることが出来ることを願います。



授業で作ったアーモンドのモロッコ菓子

ところで、日本は「日出ずる国」として知られていますが、モロッコはアラビア語で Al-Maghrib、「日、夕日が沈む」という意味です。国旗も日本は白地に真っ赤な太陽ですが、モロッコは赤地に緑の星です。対照的ですね！

※タイトル横の写真は、モロッコ特産のアルガンオイル、美容と健康に良いとされる。

# お知らせ

終了しました！

## 1. 中上級英会話講座

日時：2018年10月1日～12月10日

毎月曜日(全8回) 18:00～19:30

場所：葉の木沢山活動センター

中上級英会話講座を開催しました。受講者14名ネイティブの講師による本格的な英語のみの授業に、受講者の皆さんのモチベーションも上がり、積極的に取り組んでいました。

### 【受講者の感想】

- ・難しい時もありましたが、リスニングの勉強になりました。
- ・教え方が上手だったのでわかり易かったです。

## 2. ハングル入門講

日時：2018年10月12日～12月21日

毎金曜日(全8回) 19:00～20:30

場所：滝沢ふるさと交流館

ハングル入門講座を開催しました。受講者11名小学生や中学生、それに今回はじめてハングルに挑戦する方もいらっしゃいました。ハングル文字の書き方、読み方、また挨拶や自己紹介の仕方など基礎的なことを学びました。

### 【受講者の感想】

- ・初めてなので、文字、発音など覚えるのが大変ですが、次回も受けてみたいです。
- ・ハングルの基礎から学べて良かったです。

## 外国人講師派遣

滝沢市教育委員会主催「幼児国際理解交流会」へ、当協会より7名の講師を派遣します。

施設：川前保育園・牧野林すずの音保育園

日時：2019年1月24日(木)・1月29日(火)

内容：3歳児、4歳児、5歳の保育園児へ母語での絵本の読み聞かせ、及びゲーム等を通して園児と交流するなど。

# 今後の事業について

## 1. 国際理解講座 料理教室

日時：2019年3月3日(日) 10:00～13:00

場所：滝沢ふるさと交流館 (調理室)

料理内容：フィリピン料理

ビーフンを使った主料理、スープ、デザート

講師：相良 ヘイゼルアン さん

募集人員：20名 \*募集は2月からです。

## 2. 2019年度「定期総会」

日時：2019年4月13日(土) 15:00～16:00

場所：滝沢ふるさと交流館 (学習室)

15:00～16:00 総会 16:30～18:30 懇親会

- \* 総会終了後、懇親会を予定しています！
- \* 役員改選期に当たり、立候補者を公募します。会長1名、副会長2名、理事6名、監事2名 任期は2019年度～2020年度です。
- \* 公募の締切 2019年3月20日(水) 17時 皆さまからの立候補をお待ちしています！

## 情報誌編集委員が替わります

情報誌の編集をこれまでのほぼ2年間、No.1～5を会長の田村が行ってきました。外国の事情や会の活動のある程度お届けできたと思っています。発刊にご協力を頂いた関係各位に心より御礼を申し上げます。

次号、6号からは新たに会員の飛鳥志穂さん、國枝ふみ子さんに情報誌編集委員として活躍して頂けることとなりました。滝沢市国際交流協会の発展に向け、一層のご支援をお願い致します。

## 賛助会員 (50音順)

協栄テックス株式会社、公立大学法人岩手県立大学、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立岩手山青少年交流の家、南館歯科・小児歯科医院、有限会社機興社

## 問い合わせ先：

滝沢市国際交流協会 〒020-0692 岩手県滝沢市中鵜飼 55 番地

滝沢市教育委員会生涯学習スポーツ課内

Mail: [yokakko@poplar.ocn.ne.jp](mailto:yokakko@poplar.ocn.ne.jp) TEL: 019-643-6591 FAX 019-687-6312